



SEE MORE JESUS • WANTTOSEEMORE.COM

聖書は善と悪について何と言っているか? — 第2部 ・ スト ロング番号付きKJV聖句

PART 2 ・ 聖書の基礎的教理に基づく新しい研究

善と悪 — 聖書の基礎教理

開会の言葉

聞きなさい。かつて語られた最も古い偽りは、一本の木の下で語られた

本研究が答える三つの問い:

1. 善悪の知識はどこから来たのか、そして人がそれを取った日、それは人にどのようなものをもたらしたのか。
2. 神は人に善と悪についてどうするよう召しておられるか。そして人の心はその召しに自分一人で応えることができるか。
3. 善悪を見分けるために感覚はどのように鍛えられるのか、そして最終的に善はどのように克服されるのか。

既に据えられた基礎 — 善と悪

園にある二種類の木 --> いのちの木 + 善悪を知る木(創世記2:9)。

園にあるすべての木からあなたは自由に食べてよいが、善悪を知る木からは、あなたは食べてはならない(創世記 2:16-17)。

蛇は言った、あなたがたは決して死ぬことはない——人は神から離れて知識を取った+死が入り込んだ(Genesis 3:4-7; Romans 5:12)。

彼らはわたしを知らない⇒ 悪をなすには賢いが、善をなすことは知らない(エレミヤ書4章22節)。

悪を善と言い、善を悪と言う者たちに災いあれ(イザヤ書5章20節)。

聞き従う者は安らかに住まい、災いの恐れなく安然としているであろう(箴言1:33)。

訓練された感覚によって善悪を見分ける(ヘブル人への手紙5:12-14)。

パート2は、新たな一連の証人たちによって同じ真理を確認します。

ギリシャ語キーワード

“良い” — **G18 agathos** — その性質と働きにおいて良いもの、有益なもの
悪に打ち勝つ善とは、善を行う善である(ローマ人への手紙12:21;使徒行伝10:38)

“良い” — **G2570 kalos** — 良い — 公正な、正直な、価値ある
鍛錬された感覚が見分け、堅く保つ善 (ヘブル人への手紙5:14、テサロニケ人への前の書5:21)

“悪” — **G2556 kakos** — 性質において悪い、良くない、無価値な
従うべきでない悪(3 John 11)、そしてあなたに勝たせてはならない悪(Romans 12:21)

“悪” — **G4190 poneros** — 悪、邪悪な、有害な — 害を及ぼそうと労する
悪を憎み(ローマ人への手紙12:9)、すべての悪の様に見えるものから遠ざかる(テサロニケ人への前の書5:22)

“圧倒する” — **G3528 nikao** — 勝つ、勝利する、勝利を収める
ローマ人への手紙12章21節とヨハネの黙示録2章7節に同じ言葉が使われている——勝を得る者は命の木から食する

“木” — **G3586 xylon** — 木材、材木、木
彼が私たちの罪を負われた木(1 Peter 2:24)と、命の木(Revelation 22:2)は同じ言葉である

“欺かれた” — **G1818 exapatao** — 完全に欺く、誤らせる
蛇の手口は決して変わらなかった——神の単純な言葉から心を惑わし離れさせるのである(コリント後書11:3)

“賃金” — **G3800 opsonion** — 支払われる報酬、当然の報い
木の警告は詳しく述べられている、罪の報酬は死である(ローマ6:23)

“欲望” — **G1939 epithumia** — 強い欲望、切望、色欲
1ヨハネ2:16が最初に開いた3つの扉のうちの1つ

ヘブライ語キーワード

“悪” — **H7451 ra** — 悪、悪しき、災い、苦難
木の知識の暗い半面——悪しき行いと悪しき日を表す一つの言葉(創世記2:9;創世記6:5)

“良い” — **H2896 towb** — good — 快い、心地よい、良好な
人が知識を得る前に、神がそのすべての業について語られた言葉(創世記1章31節)

“知る” — **H3045 yada** — 知る、認識する、見分ける
知ることが罪なのではなく、神から離れて知ることが罪なのである(創世記3:5;創世記3:22)

“拒む” — **H3988 ma'as** — 拒む、拒絶する、蔑む
イザヤ書7章15節において、悪に対抗して立てられた神ご自身のみことば

“選ぶ” — **H977 bachar** — 選ぶ、選出する、選択する
良いものの上に据えられた神ご自身の言葉(イザヤ書7:15;申命記30:19)

“退く” — **H5493 sur** — それる、脇にやる、取り除く
足は心が見分けるものに従う——悪から離れよ(詩篇34:14;箴言3:7)

“欺かれた” — **H5377 nasha** — 欺くこと、迷わせること
創世記3章13節における、女自身の口から語られた墮落の顛末

“聞く” — **H8085 shama** — 聞く、聴く、理解する

ソロモンが求めた「理解する心」とは、ヘブライ語では「聞き分ける心」である(1 Kings 3:9)

OPENING ANCHOR(冒頭のアンカー)

ヘブル人への手紙 5:14 しかし、堅い食物は、善悪を見わける感覚を実際に働かせて訓練された成人の
とるべきものである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5046 teleios ・ ■ G145 aistheterion ・ ■ G1128 gymnazo ・ ■ G1253 diakrisis ・ ■ G2570 kalos ・
■ G2556 kakos

堅い食物 → 感覚を実際に働かせて訓練された → 善悪を見わける。

(これは私個人の考えである——「訓練」はギムナゾー(G1128, exercise)であり、人が長い練習によって訓練されるのと同じ仕方を意味し、「感覚」はアイステーテリオン(G145, senses)であり、知覚する諸部分を意味する。識別力は怠惰な者に与えられるのではなく、用いることによって育つのである。幼子は甘いものと苦いものを区別できないが、成長した者は善と悪を見分ける——そしてその教師は義の言葉である(ヘブル人への手紙5章13節)。)

I. その木 — 神から離れて取られた善(H2896 TOWB)と悪(H7451 RA)の知識

A. コリント人への第二の手紙 11:3 ただ恐れるのは、エバがへびの悪巧みで誘惑されたように、あなたがたの
思いが汚されて、キリストに対する純情と貞操とを失いはしないかということである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1818 exapatao

あなたがたの思いが汚されて → キリストに対する純情と貞操とを失いはしないかということである。

(私自身の考え——パウロは園を振り返り、同じ危険が今なお働いているのを見ている。神の平明な言葉から離れてしまった思いは、再び惑わされる備えのできた思いである。木は知識を提供したが、蛇の本当の狙いは、神が実際に語られたことの単純さから女を引き離すことにあった。)

B. ローマ人への手紙 6:23 罪の支払う報酬は死である。しかし神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスにおける永遠のいのちである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3800 opsonion

罪の支払う報酬は死である → しかし神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスにおける永遠のいのちである。

(私の個人的な考え——あの木のもとで与えられた警告は、エデンとともに過ぎ去った脅しではない。パウロは同じ律法をその full name で呼んでいる。罪の報酬は死である。しかし、同じ節はもう一つの扉を開いたままにしている——恵みの賜物は生命である。)

C. ヨハネの第一の手紙 2:16 すべて世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、持ち物の誇は、父から出たものではなく、世から出たものである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1939 epithumia

肉の欲+目の欲+生活の誇り → は父から出たものではなく、世から出たものである。

(これは私個人の考えですが、ヨハネの三つの分類は、あの木とぴったり一致しています。食べるのに良いとは肉の欲であり、目に美しいとは目の欲であり、賢くなるために好ましいとは今の生活の誇りです。蛇が最初の木で開いたのと同じ三つの扉、蛇はそれ以来あらゆる誘惑において今なお開き続けているのです。)

D. 創世記 3:22 主なる神は言われた、「見よ、人はわれわれのひとりのようになり、善悪を知るものとなった。彼は手を伸べ、命の木からも取って食べ、永久に生きるかも知れない」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3045 yada

人は我々の一人のようになり、善悪を知るようになった。彼が命の木からも取って食べ、永遠に生きることをのうにせよ。

(私自身の考え——道を閉ざされたことは憐れみであった。悪に陥った人が命の木から食べ、その壊れた状態のまま永遠に生き続けるならば、その悪は終わらなきものとなってしまふ。神は道を閉ざされたが、それはご自身の御子において再びそれを開くためであった——啓示2:7は、創世記3:22が閉ざしたものを開いている。)

II. 人の心 — 絶えず悪(H7451 RA)のみ

A. マルコによる福音書 7:21 すなわち内部から、人の心の中から、悪い思いが出て来る。不品行、盗み、殺人、(22)姦淫、食欲、邪悪、欺き、好色、妬み、誹り、高慢、愚痴。(23)これらの悪はすべて内部から出てきて、人をけがすのである」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2556 kakos

すなわち 内部 から、人の心の中から、悪い思いが出て来る→これらの悪はすべて内部から出てきて、人をけがすのである」。

(私の個人的な考え——イエスはその源を直接名指しされる。人に入るものではなく、心から出て来るものである。木の知識はまさにそこ、心に宿り、心はそれ以来ずっとそれを悪へと変え続けている。)

B. エレミヤ書 4:22 「わたしの民は愚かであって、わたしを知らない。彼らは愚鈍な子どもらで、悟ることがない。彼らは悪を行うのにさといけれども、善を行うことを知らない」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3045 yada ・ ■ H2450 chakam ・ ■ H7489 ra'a' ・ ■ H3190 yatab ・ ■ H3045 yada

悪を行うことには知恵があり、善を行うことには知識がない。

(私自身の思い——この二つの「知る」を並べて見てみよう。彼らはわたし〔神〕を知らなかった、そして善を行うことを知らない〔知識がない〕——どちらもヤダー(H3045、知る)という同じ言葉であり、まさに創世記3章22節の言葉である。人は悪を知る知識を保持し、神を知る知識を失った。それこそが、あの木のもたらした収穫のすべてである。)

C. エレミヤ書 17:9 心はよろずの物よりも偽るもので、はなはだしく悪に染まっている。だれがこれを、よく知ることができようか。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3820 leb ・ ■ H6121 aqob ・ ■ H605 anash ・ ■ H3045 yada

心=すべてのものよりも偽りに満ち、はなはだ悪しきもの。

(私の個人的な考え——「甚だしく悪しき」はアナシュ(H605, wicked)であり、癒しがたいまでに病んでいる、という意味である。そして、この問いに注目せよ——誰がそれを知り得るか?善悪の知識を取った者は、自分自身の心すら知ることができないのである。)

D. マラキ書 2:17 あなたがたは言葉をもって主を煩わした。しかしあなたがたは言う、「われわれはどんなふうにも、彼を煩わしたか」。それはあなたがたが「すべて悪を行う者は主の目に良く見え、かつ彼に喜ばれる」と言い、また「さばきを行う神はどこにあるか」と言うからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H7451 ra ・ ■ H2896 towb

悪を行う者はすべて主の目に良しとされる。→公義の神はどこにいるのか。

(私個人の思い——欺く心は悪を行うだけにとどまらない。ついにはその悪を善と呼び、主がそれを是認しておられるとまで言い張る。二人の異なる預言者による、まさに同じ警告である。)

III. 召し — 悪を拒み(H3988 MA'AS)、善を選べ(H977 BACHAR)

A. イザヤ書 7:15 その子が悪を捨て、善を選ぶことを知るところになって、凝乳と、蜂蜜とを食べる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3045 yada ・ ■ H3988 ma'as ・ ■ H7451 ra ・ ■ H977 bachar ・ ■ H2896 towb

悪を退け、善を選ぶことを知る。

(私個人の考え——この言葉は、その直前に述べられている子について語られている。見よ、おとめが身ごもって男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶであろう(イザヤ書7章14節)。悪を退け、善を選ぶことを知る一人が来られた。そして、彼は一度も失敗することがなかった。)

B. 詩篇 97:10 主は悪を憎む者を愛し、その聖徒のいのちを守り、これを悪しき者の手から助け出される。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H157 ahab ・ ■ H8130 sane ・ ■ H7451 ra ・ ■ H8104 shamar

主を愛する者たちよ、悪を憎め。

C. 箴言 3:7 自分を見て賢いと思っはならない、主を恐れて、悪を離れよ。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2450 chakam ・ ■ H3372 yare ・ ■ H5493 sur ・ ■ H7451 ra

自分を見て賢いと思っはならない→主を恐れて+悪を離れよ。

(私個人の考え——「自らを知恵ある者とする」は、あの木そのものの誘惑、すなわち目に慕わしく、賢くなるために好ましいというその点を指し示している——これはヨハネの第一の書2章16節に記されている、いのちの誇りと同じものである。主を恐れることが、今やその偽りの知恵があった場所に立っている。)

D. 詩篇 37:27 悪をさけて、善を行え。そうすれば、あなたはとこしえに住むことができる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H5493 sur ・ ■ H7451 ra ・ ■ H2896 towb ・ ■ H7931 shakan

悪をさけて善を行え→とこしえに住むことができる。

(私個人の思い——これを創世記3章22節と並べて考えてみたい。そこでは人が壊れた状態のまま永遠に生きることをないよう、食べることを禁じられた。ここでみことばは、悪を離れ、善を行い、とこしえに住めと言う。「とこしえ」への道は、悪を離れることから始まるのである。)

IV. 御言葉による識別 — 経験によって鍛えられた(G1128 GYMNAZO)感覚

A. 列王紀上 3:9 それゆえ、聞 きわけ る 心 を しもべ に 与 え て、あな たの 民 を さばか せ、わ た しに 善 悪 を わき まえ る こ とを 得 さ せ て く だ さ い。だ れ が、あな たの こ の 大 い な る 民 を さば く こ とが で き ま し ょ う」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H8085 shama ・ ■ H3820 leb ・ ■ H995 bin ・ ■ H2896 towb ・ ■ H7451 ra

悟りの心 → 善と悪を見分けるため。

(私個人の考え——ここでの「理解」はシャマ(H8085、聞くこと)であり、聞く心のことである。墮落は耳から入ってきた、女が蛇の声を聞いたときに。識別力も同じ入口から入ってくる、心が神に耳を傾けるときに。そして「悪い」はラー(H7451、悪)——あの木の悪と同じ言葉である。)

B. ヘブル人への手紙 5:13 すべ て 乳 を 飲 ん で い る 者 は、幼 な 子 な の だ か ら、義 の 言 葉 を 味 わ う こ とが で き な い。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G552 apeiros ・ ■ G3056 logos ・ ■ G1343 dikaiosyne

乳 → 義の言葉に慣れていない者。

(私の個人的な考え——善悪の見分けは御言葉における熟練である。その手段は年数でも感情でもなく、義の言葉が用いられることである。)

C. テサロニケ人への第一の手紙 5:21 すべ て の も の を 識 別 し て、良 い も の を 守 り、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1381 dokimazo ・ ■ G2722 katecho ・ ■ G2570 kalos

すべ て の も の を 識 別 し て → 良 い も の を 守 り。

D. テサロニケ人への第一の手紙 5:22 あ ら ゆ る 種 類 の 悪 か ら 遠 ざ か り な さ い。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G567 apecho ・ ■ G1491 eidos ・ ■ G4190 poneros

あ ら ゆ る 種 類 の 悪 か ら 遠 ざ か り な さ い。

(私の個人的な考え——「証明する」とはドキマゾー(G1381、証明する)であり、金属が火で試されるように試すことを意味する。訓練された感覚はまず試し、そのあとでしっかりと保持する。そして悪いと証明されたものは、たとえ悪の見えるだけであつても、退けられる。)

E. ローマ人への手紙 16:19 あな たが たの 従 順 は、すべ て の 人 々 の 耳 に 達 し て お り、そ れ を あな たが たの た め に 喜 ん で い る。し か し、わ た し の 願 う と こ ろ は、あな たが たが 善 に さ と く、悪 に は、う と く あ っ て ほ し い こ とで あ る。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4680 sophos ・ ■ G18 agathos ・ ■ G185 akeraios ・ ■ G2556 kakos

善 に対 して は 賢 く、悪 に対 して は 純 真 で あ れ。

(私個人の考察——「純朴」はアケライオス(G185、純朴)であり、混じり気のないことを意味する。蛇は悪を知ることによって知恵を得られると約束したが、神はより優れた知恵を与えてくださる——すなわち、善については賢く、悪については純朴であるという知恵である。ただし、悪事においては幼子となり、悟りにおいては大人となれ(コリント人への第一の手紙 14:20)。)

V. 勝つ(G3528 NIKAO)——キリストにおいて善は悪を呑み尽くす

A. 使徒行伝 10:38 神 はナザレのイエスに 聖霊 と 力 とを 注 が れ ま し た。こ の イエ ス は、神 が 共 に お ら れ る の で、よ い 働 き を し な が ら、ま た 悪 魔 に 押 え つ け ら れ て い る 人 々 を こ と ご と く い や し な が ら、巡 回 さ れ ま し た。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2109 euergeteo ・ ■ G2390 iaomai ・ ■ G2616 katadynasteuo ・ ■ G1228 diabolos

イエスはよい働きをしながら巡回された → 悪魔に押えつけられている人々をことごとくいやされた

(私個人の思いですが、ここに善と悪が一つの場所で出会い、そのすべての出会いにおいて善が勝利します。彼は虐げられていたすべての者を癒されました。神の子が現れたのは、悪魔のわざを滅ぼすためです(ヨハネ第一の書 3:8)。)

B. ヨハネの第三の手紙 1:11 愛 する 者 よ。悪 に な ら わ な い で、善 に な ら い な さ い。善 を 行 う 者 は 神 か ら 出 た 者 で あ り、悪 を 行 う 者 は 神 を 見 た こ と の な い 者 で あ る。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3401 mimeomai ・ ■ G2556 kakos ・ ■ G18 agathos ・ ■ G15 agathopoieo ・ ■ G2554 kakopoieo

悪 に 倣 う な、善 に 倣 え。すなわち、善を行う者は神から出た者である。

C. ペテロの第一の手紙 3:11 悪 を 避 け て 善 を 行 い、平 和 を 求 め て、こ れ を 追 え。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1578 ekklineo ・ ■ G2556 kakos ・ ■ G18 agathos ・ ■ G2212 zeteeo ・ ■ G1515 eirene ・ ■ G1377 dioko

悪を離れ、善をなせ —— 平和を求め、これを追い求めよ。

(私自身の思い——これは詩篇34篇14節そのものの言葉であり、ペテロが異邦人たちに向けて再び書き記したものである。二つの契約、一つの声。)

D. ローマ人への手紙 12:21 悪に負けてはいけない。かえって、善をもって悪に勝ちなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3528 nikao ・ ■ G2556 kakos ・ ■ G3528 nikao ・ ■ G18 agathos

悪に負けてはいけない → 善をもって悪に勝ちなさい。

(私個人の思い——ニカオー(G3528、克服する):征服すること、勝利を得ること。悪はただ拒むべきものではなく、克服されるべきものであり、その武器は善である。同じ語が次にどこで用いられているか見よ。勝を得る者——ニカオー——には、命の木の実を食する権を与えん(ヨハネの黙示録2章7節)。彼は死を勝利のうちに呑み尽くしたまえり(イザヤ書25章8節。)

二人の口——悪を離れて善を行え、二人または三人の口によって確立される

アモス書 5:14 善を求めよ、悪を求めな。そうすればあなたがたは生きることができる。またあなたがたが言うように、万軍の神、主はあなたがたと共におられる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1875 darash ・ ■ H2896 towb ・ ■ H7451 ra ・ ■ H2421 chayah

善を求めよ、悪を求めな → そうすればあなたがたは生きる、そして主はあなたがたと共にいます。

アモス書 5:15 悪を憎み、善を愛し、門で公義を立てよ。万軍の神、主は、あるいはヨセフの残りの者をあわれまれるであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H8130 sane ・ ■ H7451 ra ・ ■ H157 ahab ・ ■ H2896 towb ・ ■ H3322 yatsag ・ ■ H4941 mishpat

悪を憎み、善を愛せよ。

詩篇 34:14 悪を離れて善をおこない、やわらぎを求めて、これを努めよ。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H5493 sur ・ ■ H7451 ra ・ ■ H2896 towb ・ ■ H1245 baqash ・ ■ H7965 shalom ・ ■ H7291 radaph

悪を離れて善をおこなえ。

ローマ人への手紙 12:9 愛には偽りがあってはならない。悪は憎み退け、善には親しみ結び、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G26 agape ・ ■ G505 anypokritos ・ ■ G655 apostygeo ・ ■ G4190 poneros ・ ■ G2853 kollao ・ ■ G18 agathos

悪は憎み退け+善には親しみ結び。

(私の個人的な考え——テコアの牧者(アモス7:14)、イスラエルの王、そして異邦人への使徒。二人または三人の証人の口によって、すべての言葉は確定する(コリント後書13:1)、また三つよりの縄はすぐには切れない(伝道の書4:12)。三つの口、二つの契約、一つの命令——悪から離れ、善を堅く保つこと——そして偽りのない愛がそれを成し遂げる。)

影と実現

Shadow 創世記 3:13 そこで主なる神は女に言われた、「あなたは、なんということをしたのです」。女は答えた、「へびがわたしをだましたのです。それでわたしは食べました」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H5377 nasha

「へびがわたしをだましたのです。それでわたしは食べました」。

Fulfillment ローマ人への手紙 5:19 すなわち、ひとりの人の不従順によって、多くの人が罪人とされたと同じように、ひとりの従順によって、多くの人が義人とされるのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3876 parakoe ・ ■ G5218 hypakoe

すなわち、ひとりの人の不従順によって、多くの人が罪人とされたと同じように → ひとりの従順によって、多くの人が義人とされるのである。

Fulfillment ペテロの第一の手紙 2:24 さらに、わたしたちが罪に死に、義に生きるために、十字架にかかって、わたしたちの罪をご自分の身に負われた。その傷によって、あなたがたは、いやされたのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G399 anaphero ・ ■ G3586 xylon ・ ■ G3468 molops ・ ■ G2390 iaomai

わたしたちの罪をご自分の身に十字架にかかって負われた → 義に生きるために。

(私の個人的な思い——影: 女ははっきりと言った、蛇が私を欺いて、私は食べました。成就: 一人の不従順によって多くの人が罪人とされたが、一人の従順によって多くの人が義とされる——そしてその従順なる方は、木の上でご自身の身に私たちの罪を負われた。それは、罪に死んだ私たちが、義に生きるためである。園における欺きは、十字架における従順によって解かれる。)

閉会

ヨハネの黙示録 2:7 耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい。勝利を得る者には、神の
パラダイスにあるいのちの木の実を食べることをゆるそう。』。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3528 nikao ・ ■ G5315 phago ・ ■ G3586 xylon ・ ■ G2222 zoe ・ ■ G3857 paradeisos

勝を得る者には → 神のパラダイスの中央にある生命の木の実を食べさせん。

ヨハネの黙示録 22:2 都の大通りの中央を流れている。川の両側にはいのちの木があって、十二種の実を結び、その実は毎月みのり、その木の葉は諸国民をいやす。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3586 xylon ・ ■ G2222 zoe ・ ■ G2322 therapeia ・ ■ G1484 ethnos

いのちの木 → その実は月々に実り + その葉は諸国民をいやすため。

(私の個人的な思い——ここに、この学びのすべてをひと息に述べる。園の中央に二本の木が立っていた。人は偽りの声を聞き、神から離れて善悪の知識を取った。その日、死が彼の上を過ぎた。盗み取られた知識は彼の心に沈み込み、それが作った心は何よりも欺くもの、悪をなすことに巧みなものとなり、ついには悪を善と呼び、善を悪と呼ぶまでになった。しかし神は、人が選んだその木のままに人を捨て置かれなかった。神はご自身の言葉を人の前に置かれた——悪を退け、善を選べ。悪から離れ、善をなせ——そして固い食物を与えられた。それを用いることによって、感覚が訓練され、その両方を見分けることができるようになるためである。そこに処女の子が来られた。彼は悪を退け、善を選び、決して失敗されなかった。彼は行く先々で善を行い、我々の悪を自らの体に負って木の上に運ばれた。そしてその木によって、エデン以来閉ざされていた命の木への道が開かれている。人が食べることによって失ったものを、神は再び食べることによって与えられる。勝利を得る者には、命の木から食べる権利を与えると。書の初めには一本の木が守られて立ち、書の終わりには、勝利を得るすべての者のために自由に開かれた一本の木が立ち、その葉は諸国民をいやすためのものである。善はただ悪を逃れたのではない——善は悪に打ち勝ったのである。耳から始め、言葉を固く保ち、ついにはその木から食べよ。)

練習クイズ

1. 創世記2:17 — それを取って食べると、きっと:

- a) 賢くある
- 死ぬ
- c) 神々ようになる

2. イザヤ書7:15 — 凝乳と、蜂蜜とを食べる、それは彼が次のことを知るためである:

- a) 悪を捨て、善を選ぶ
- b) 悪を選び、善を拒む
- c) 心の思いを見分ける

3. アモス書5:14 — 善を求めよ、悪を求めな。そうすればあなたがたは:

- a) 門に立つ
- b) 残りの者に恵みを施す
- c) 生きる

4. エレミヤ17:9 — 心はよろずの物よりも偽るもので、はなはだしく:

- 悪
- b) 愚かな者
- c) 弱い

5. ヘブル人への手紙5:14 — しかし、堅い食物は、善悪を見わける感覚を実際に働かせて訓練された成人のとるべきものである。それは何によって:

- a) 知識
- 使う
- c) 年齢

6. ローマ人への手紙16章19節 — わたしの願うところは、あなたがたが善にさとく、そして:

- a) 沈黙している
- b) 分離する
- c) 単純

7. ヨハネの黙示録2:7 — 勝利を得る者には、次のものを食べることをゆるそう。

- a) 隠されたマナ
- いのちの木
- c) ぶどうの実

解答:1-b、2-a、3-c、4-a、5-b、6-c、7-b

このスタディの分岐

→影が光をもたらす道:二本の木が園に立っていた。知識の木によって死が来たが、十字架の木の上で死は取り除かれ、命の木は開かれている。最初の木を見ることは、最後の木がいかに良いものであるかを見る助けとなる(GENESIS 2:9 → 1 PETER 2:24 → REVELATION 2:7)。

新しい契約が同じ言葉を携えている様子:ペテロは、ダビデが歌ったのと同じ言葉を寄留者たちに書き送っている——悪を離れ、善を行え(詩篇34:14 → ペテロ前書3:11)。その命令は変わらなかった。しかし新しい契約は力を加える、なぜなら神はナザレのイエスに油を注ぎ、彼は善を行いながら巡り歩かれたからである(使徒行伝10:38)。

→言葉がいかに重要かを見よ。ローマ5:19の「不従順」はバラコエ(G3876, DISOBEDIENCE)であり、聞き誤りを意味する。「従順」はヒュパコエ(G5218, OBEDIENCE)であり、実を結ぶ聞き方を意味する。墮落は耳から入り込み、信仰もまた耳から入る(ローマ10:17)。そして列王記上3:9の「聞き分ける心」は、ヘブル語では文字どおり聞く心であり、シャマ(H8085, TO HEAR)である。

これがユダヤ人と異邦人にどのように関わるか:使徒行伝10:38は異邦人であるコルネリオの家で語られた。そして命の木の葉は諸国民(NATIONS)の癒しのためにある(啓示22:2)。どの国民の中にも、彼を畏れ、正しいことを行う者は彼に受け入れられる(使徒行伝10:35)。

→あなたにどう当てはまるか:すべてのことを試し、良いものを堅く保ちなさい(テサロニケ人への前の書 5:21)。感覚は訓練によって鍛えられる(ヘブル人への書 5:14)。御言葉を行う者となりなさい、ただ聞くだけの者ではなく(ヤコブの書 1:22)、そうすれば識別力は育つ。

食べることによって失われたものは、食べることによって再び与えられる。勝利を得る者には、いのちの木から食べる権利を与えよう(黙示録2:7)。悪を離れて善を行え、そうすればとこしえに住むことができる(詩篇37:27)。

余談:詩篇34篇は、「主の恵みを味わい見よ」(詩篇34:8)と言った後に、「悪を離れて善を行え」(詩篇34:14)と言っている。善を味わった口は、悪に対する新しい判断力を持つ。この「食べる」というテーマを聖書全体を通して追ってみよ:創世記3:12 → 詩篇34:8 → ヨハネ6:51 → 黙示録2:7。

→可能な啓示:彼が私たちの罪を負われた木(1 PETER 2:24)と、命の木(REVELATION 2:7; 22:2)は、同じギリシャ語、XYLON(G3586, TREE)である。[VERSES JOINED TOGETHER — NO ONE VERSE SAYS THIS ALONE](私個人の考え — 一つの木の上で、悪は善に対してその力を尽くし、そして敗れた。その木から、もう一つの木への道が開かれている。一つの木は私たちのために死を負い、もう一つの木が私たちに命を与えることができるようにした。)

救われるためには何をしなければならないか

「救われるためには何をすべきか」という私たちの聖書研究をご覧ください

SOURCES & CREDITS

Scripture: Kougo (Colloquial) (Public Domain (1955 口語訳聖書 — Japan Bible Society's own copyright page confirms the copyright protection period has ended; see registry/JAPANESE_LEGAL_PATH.md. Moral/integrity rights are preserved under Japanese law, so the text is rendered verbatim only, never altered -- pipeline.VERBATIM_LANGS.)) — a redistributable edition, looked up exactly and never machine-translated.

Alternate chapter/verse numbering reconciled with STEP Bible TVTMS (CC BY 4.0).

Strong's numbering & original-language data: OpenScriptures Hebrew Bible (CC BY 4.0); STEP Bible.org — TAHOT/TAGNT/TBESH/TBESG (CC BY 4.0); Robinson-Pierpont Byzantine Majority Text (Public Domain); Strong's dictionary, 1890 (Public Domain).

Typography: Google Noto fonts (SIL Open Font License 1.1).

© SEE MORE JESUS • wanttoseemore.com — shared under Creative Commons Attribution 4.0 (CC BY 4.0).